

ワークショップ5

「消化管出血に対するマネジメントの最前線」

司会 山本 貴嗣（帝京大学医学部内科学講座）

永田 尚義（東京医科大学消化器内視鏡学）

急性消化管出血の重要なアウトカムは再出血であり、その率は上部・下部ともに依然として高く、多くの課題が残されている。本ワークショップでは、消化管出血の再出血抑制に注目した内視鏡治療の選択、前処置の工夫、IVR や外科の適応、輸血の適応、受診後早期の内視鏡が有効な患者群、そして再出血予防につながる重症化スコアの活用、併存疾患、薬剤、生活習慣のマネジメントなど多方面から発表していただきたい。明日からの日常診療に役立つセッションとなることを期待したい。